

平成20年10月6日

各 位

東京都港区虎ノ門二丁目10番1号



平成20年下期の金属製品の生産予定について

品 目	単 位	平成20年下期 生産予定	平成20年上期 生産実績見込	平成19年下期 生産実績
銅	t / 期 (t / 月)	310,600 (51,767)	299,900 (49,983)	302,800 (50,466)
硫 酸	t / 期 (t / 月)	808,100 (134,683)	852,200 (142,033)	738,300 (123,050)
金	kg / 期 (kg / 月)	14,744 (2,457)	15,324 (2,554)	15,484 (2,581)
銀	t / 期 (t / 月)	151 (25)	160 (27)	163 (27)

以 上

お問い合わせ先： パンパシフィック・カッパー株式会社
総務部 村山・小松崎
(TEL : 03-3560-8600)

(付帯説明)

(1) 銅

上表は日鉱製錬(株)における銅生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における銅生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：19年下期実績	216,300 t	日比共同製錬：19年下期実績	86,500 t
20年上期見込	214,200 t	20年上期見込	85,700 t
20年下期予定	224,300 t	20年下期予定	86,300 t

平成20年度下期、日鉱製錬は対前期比約5%増産、日比共同製錬は前期比並みとなる予定である。

(2) 硫酸

上表は日鉱製錬(株)における硫酸生産量(全量)及び日比共同製錬(株)における硫酸生産量(P P C分)を記載。

日鉱製錬：19年下期実績	530,400 t	日比共同製錬：19年下期実績	207,900 t
20年上期見込	643,300 t	20年上期見込	208,900 t
20年下期予定	545,700 t	20年下期予定	262,400 t

平成20年度下期、日鉱製錬は対前期比約15%の減産、日比共同製錬は対前期比約26%の増産となる予定である。

(3) 金及び銀

上表は日鉱製錬(株)における金及び銀生産量(全量)を記載。

金については、原料調達状況に基づき、対前期比約4%の減産となる予定である。

銀については、原料調達状況に基づき、対前期比約5%の減産となる予定である。

以 上